

令和 7 年度 学校経営・運営ビジョン



教育目標 ひばりのように生き生きとして明るい子ども
「よく学ぶ子 思いやる子 たくましい子」



~ Challenge ~

学校経営の方針

『チームひばり』ですべての子どもにとって 笑顔とチャレンジあふれる安心・安全な学校をつくる

- ・いじめを許さない
- ・自他のよさを認め、尊重し、よりよい人間関係をつくる
- ・「やってみよう」「わかった」「できた」があふれる学びをつくる
- ・地域に愛され支えられ、地域に貢献できる

児 童

自分で考え、判断し行動できる
自他のよさと違いを認め尊重し、よりよい人間関係をつくる

教職員

授業改善と授業力の向上を目指す
一人ひとりを受け入れ、寄り添う
家庭地域と連携協働できる

重点目標 「 つたえ合おう みとめ合おう 」

確かな学力を身につける	よさと違いを尊重する	健康・安全に過ごす
○「子どもが主役の授業」の推進 ・自ら解決方法を選択し、自ら動きだそうとする問題解決的な学習を行う。 ・書く振り返りと解く振り返りの充実。 ○読書活動の充実 ・教科学習における図書利用を推進するとともに、朝の読書タイム、読書イベントを通して読書量を増やし、語彙力・読解力を高める。(学校図書館司書との連携) ○家庭学習習慣の確立 ・授業と家庭学習を連動させ、目的をもって家庭学習に取り組む。(授業内容の定着と活用・発展をねらう課題) ・家庭学習の手引き等の活用により、自己マネジメント力の育成を図る。	○多様な考えに触れ、認め合うコーディネート工夫 ・道徳の授業を中心として、互いの考えを交流する場を設定し、多様な考えに触れさせ、他者理解を促す。 ○体験活動・協働活動の充実 ・縦割り班で協働する場面(花いっぱい活動・集会活動・清掃活動等)を通して、「協力・思いやり・勤労奉仕・自然愛護・愛校心」等の心を育成する。 ○至誠学(まごころ)の推進 ・「原町二小の至誠学」を活用し、様々な活動を通して、至誠学に通じる具現化された児童の姿を称賛する。自己の生き方について振り返らせたり考えさせたりする指標とする。 ・全校集会、HP での奨励と称賛	○運動の習慣化 ・外遊びの推奨と体を動かす環境づくりや場の設定を行い、運動の日常化を図る。 ・縦割り班で遊ぶ時間を設け、異学年交流の中で運動に親しむ態度を育成する。(月1回縦割り班) ・6、11、2月を「外遊びチャレンジ月間」とし、カードを活用した意欲付けや称賛により体力向上を図る。 ○目標に挑戦し達成感を味わわせる指導 ・体育の授業での学習カード等への記録累積や、体育的行事との関連を図った業間運動(マラソン、なわとび)を設定し、自分の目標に向かって進んで運動に取り組ませる。 ○危機回避能力を高める実践 ・避難訓練、交通教室、防災教育の充実を図る。

これからの時代に必要な力の育成

○地域力を活用した探究活動で生き方を考える

総合的な学習や社会科・生活科を中心に地域素材(ひと・もの・こと)を活かした学習を展開し、探究的な活動を通して南相馬市や地域のよさに気づき、自分の生き方について考える機会をもつ。

○あいさつ、コミュニケーション力の育成

自分の考えを表現・発信する場と外部人材との交流の機会をもつ。(ふれあい遠足、全校集会の充実、各委員会からの発信、6年生による一日校長)

○情報活用能力と情報モラルの向上

授業や家庭学習にタブレットを活用して情報活用能力の向上に役立てるとともに、ネット・SNS 活用上の諸注意を学ぶ情報モラル教育の機会をもつ。

○承認、称賛と自己決定で自己肯定感・有用感の向上

努力したこと・成長できたことが常にほめられる認められる安心してチャレンジできる環境づくりを進める。

地 域

学校サポーター
学校支援ボランティア

地域と共にある開かれた学校

家 庭

学校サポーター・パートナー
「早寝・早起き・朝ご飯」
ネット、メディア利用のルールづくり